

医療安全セミナーにおける各セッションのねらい

本セミナー全体のねらい

本セミナーは、

- ◆ 人間の特性やエラーの本質を理解し、
- ◆ システム指向の医療安全対策を実施でき、
- ◆ チームで、安全で質の高い医療を実践するための教育を行えるようになるためのイントロコースです。

下記には、各プログラムのねらいを ◆に記載しておりますので、ご確認ください。

(敬称略)

1日目:6月15日(火)

13:15~13:55 **医療人養成のための取り組み**(40分)

講師:文部科学省高等教育局医学教育課 課長 新木一弘

- ◆ 医学教育に関する文部科学行政について理解する。

13:55~14:45 **医療安全における行政の取り組み**(50分)

講師:厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 室長 渡辺真俊

- ◆ 医療安全及び広く医療を取り巻く厚生労働行政について理解する。

15:00~16:00 **事故防止のための失敗学**(60分)

講師:警察大学校 警察政策研究センター 教授 樋口晴彦

- ◆ 過去の失敗事例を振り返り、その教訓から事故防止について考える。

16:10~17:00 **医療安全~これまでの取り組みとこれからの課題**(50分)

講師:大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 部長 中島和江

- ◆ 国内外の医療安全への取り組みにおいて、これまで達成してきたこと、および新たな課題について知る。

2日目:6月16日(水)

9:00~10:00 **医療安全におけるノンテクニカルスキルの重要性**(60分)

講師:大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 副部長 高橋りょう子

- ◆ 医療におけるノンテクニカルスキルの重要性について知る。

10:15~11:45 **航空業界のCRM**(90分)

講師:元日本航空機長 小林宏之

- ◆ 航空業界における安全性向上のためのノンテクニカルスキルトレーニングについて知る。

12:45～17:00 医療における教育手法について(パネルディスカッション)

座長:京都大学医学部附属病院看護部長 任 和子

大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 部長 中島和江

手法紹介

シミュレーション手法を使った院内活動の実際(20分)

講師:横浜市立大学医学部附属病院 救急部 診療部長 中村京太

ケースメソッド授業とマネジメント教育(20分)

講師:京都大学大学院医学研究科 医学教育推進センター 講師 森本 剛

研修医教育のツール:寺子屋(20分)

講師:独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 脳神経外科 科長 中島 伸

安全研修:グループワーク(20分)

講師:倉敷中央病院 麻酔科 主任部長 米井昭智

◆ 医療従事者へのさまざまな教育方法の理論と実際について知る。

特別パネリスト:元日本航空機長 小林宏之

3日目:6月17日(木)

9:00～10:00 有害事象発生時の対応の流れ(60分)

講師:福島県立医科大学附属病院 医療安全管理部 部長 橋本重厚

講師:大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 副部長 團 寛子

◆ 事故発生時の対応、調査の実際に関する理解を深める。

10:15～12:05 患者参加を支援するためのツール(110分)

座長:北里大学病院 医療安全管理室 医療安全管理者 荒井有美

基調講演

患者の医療参加のためのCOMLの取り組み(45分)

講師:NPO 法人ささえあい人権医療センターCOML 事務局長 山口育子

発表

阪大病院みんなのここにいろはうた ～患者と医療者のパートナーシップ～(10分)

講師:大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 池尻朋・上間あおい

SNSを利用した生活習慣病予防のためのツール:めたぼりネット(10分)

講師:鳥取大学医学部附属病院 医療情報部 副部長 桑田成規

子どもが”わかる”ということ(15分)

講師:大阪市立大学医学部附属病院 安全管理対策室 病院講師 山口悦子

◆ 患者参加を支援する様々な取り組みやツールを学ぶ。